

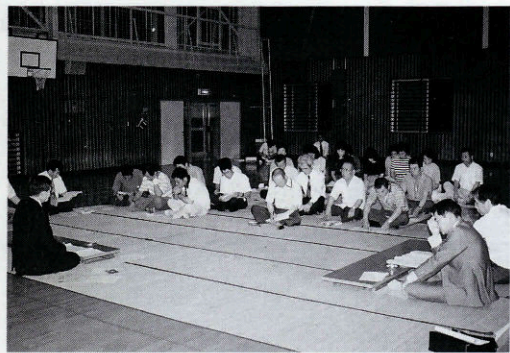
教育を語り合う

地区懇談会

たくさんのご意見
ありがとうございます

生涯学習について

教育委員会では、七月二日から六つの小学校を会場に地区懇談会を行いました。ご多忙な折にもかかわらず、たくさんの皆様方のご参加をいただき、多くの意見が出されました。その一部を紹介します。なお、ここに掲載できなかった「学校統合」「部活動、学校への要望」「教育予算」等については、関係当局に要望をお伝えします。皆様方のご協力に厚く感謝を申し上げます。【油谷町教育委員会】



公民館の講座（教室）がマンネリ化している。技量の差やグループ内の人間関係もあり新しい人が入りにくい。新陳代謝を図ってはどうか。そのためには代表者に集まってもらい、研究会を開いてはどうか。

公民館講座には若い人に向くものがないように思うが。

農協、漁協などは学習会を自主的にもって、よくやっている。

この地域では、趣味のグループがもつとできるとよい。辛抱人が多く趣味やスポーツより畑の草を取った方がよいと考える。又、引つ込み思案で新しい人を集めてグループを作る積極性も乏しくむずかしい。

楊 貴妃の里ができて中国と

の交流もあろう。若者が希望するなら中国語などの勉強の場を作ってはどうか。

これから先の漁業を考える。二十代、三十代の人が集まって勉強会を持つとよい。

技術も公開し合って勉強するとよい。私どもが生きる道はこのほかないだう。

こうした懇談会を二回も三回もやってもらえば道が開ける。一つ一つ話し合って努力していつてはどうか。

家庭・地域でのしつけ

「ふれあい通り」と表示が出ているが徹底していない。これは挨拶をしあおうという願いを示すもの。学校でもその趣旨を伝えてほしい。

親が挨拶をしなければ子はいない。親もすっかり家庭内で挨拶をしようではないか。

横断歩道を渡るときに、子供は立って待っているのではなく、手を挙げてはつきり意志表示をしてほしい。

運転者も車を止めて、先に行くよう合図すべきである。

横断歩道を渡り終えて礼をして挨拶してくれる子がいた。実にさわやかだった。

地域をよくするために

立派な子を育てるためには、地域社会がよくなるのが大切。そのためにはPTA、婦人会、老人会など各種の団体が力を合わせて地域をよくしていくというところが大切である。

お互いに、ざつくばらんに言い合える場が活性化には必要。青年団、PTAなど広い範囲で集まって議論してきた。これが大切である。

思うことが思うように言いにくい。果たして本音が言えるだろうか。思うことが言える地域であってほしい。

小学校・保育所の運動会は午前中で済ませ、午後は地域の運動会にしてはどうか。何か利用して、みんなが対話のできる機会を作ることが必要である。そうした盛り上がりがないと、地域の活性化はできない。

大人の意識改革、啓蒙が必要。封建的な生き方を脱皮し、

旧来の陋習を破るべきだ。

「ふるさと会報」を作って自由に意見を述べられるようにする。そして投稿してもらってはどうか。

真剣な話し合いを持つことによつて意識の啓蒙をしようではないか。理想に向かつていくところに意義がある。

若い同年代の人の話しは聞いていたが、今日は年配の方の話しを聞くことができた。こんな席は一年に一回は必要。多くの人が発言できる方法も考えていただき、継続してやってほしい。

同和教育について

なぜ同和地区が作られたのか、それを徹底して教えるべきである。

敗戦によつて体制は変わったが、意識革命は十分でなかった。払拭しなければならぬものを、今に引きずっていてものが言えない。どういものが差別か、これを十分に考えねばならない。部落差別とは何か、学習していかねばならない。公民館活動の一つである。